

収蔵品展「土佐藩京都藩邸史料」開催要項

1 趣旨

嘉永・安政期以降、各藩の志士らが段階的に流入し、次第に政治都市化・軍事都市化した京の町。

この背景には、外国船の渡来があり、初段階においては外夷から天皇をお守りするために京都・大坂警衛が開始されたことにより、譜代藩の武士が京都に集結した。これは、日米修好通商条約を機に大幅に拡大され、大坂警衛を外様藩が担うようになり、以降、各藩の志士らが大阪や京都へ大量流入する。これらの志士の中には尊王攘夷派も多く存在したことから、京都において尊王攘夷派の政治的・軍事的活動が活発になっていく。

こうした中で、京都で暗躍する尊王攘夷派や幕府と対立する勢力と対峙したのが、会津藩や新選組、京都の幕府役人らであった。

本企画展では、京都に多くの志士が流入するに至った背景である京都警衛に触れながら、京都における治安維持の実態に迫る。これらの事例は多くあるが、京都藩邸史料に見られる事例の中で土佐藩にもかわりのあるものは以下の4点である。

①天皇が住まう御所の御門周辺を守る御所警衛、②岡田以蔵の捕縛、③新選組による攘夷派一掃事件である池田屋事件と、池田屋事件の残党討伐の過程で起きた明保野亭事件、④龍馬捕縛のため伏見奉行所の役人により起こされた寺田屋事件。

2 会期

令和7年6月11日（水）～7月10日（木）

3 会場

高知県立坂本龍馬記念館 新館2階 企画展示室

4 関連事業

学芸員による展示解説

6月28日（土）、7月5日（土） 各日14時～（30分程度）

5 主催

高知県立坂本龍馬記念館（公益財団法人高知県文化財団）

6 問い合わせ先

高知県立坂本龍馬記念館 〒781-0262 高知市浦戸城山830

TEL 088-841-0001 FAX 088-841-0015

担当：学芸員 上村香乃